

病薬連携懇話会

平成 29 年 3 月 9 日 19:30 -
あづみ病院 本館 7 階 やまなみホール
「院外処方における疑義照会」



平成 29 年 3 月 9 日、当院やまなみホールで行われました。今回のテーマは、『疑義照会に関する検討会』でした。ここ数年、病院と周辺保険薬局、病院と地域薬剤師会等で、院外処方せんの疑義照会不要の合意を交わし、形式的な疑義照会を減らして薬局薬剤師・処方医の負担軽減に取り組んでいることが度々ニュースとなっています。また保険薬局での患者の待ち時間短縮等のメリットもあり、この取り組みは全国的に広がっています。これは 2013 年、京都大学医学部附属病院がプロトコルに基づく薬物治療管理 (PBPM) の一環として始めたことがきっかけでした。今回は、この取り組みを当院と大北薬剤師会で行うことができないか検討会を行いました。検討会では、いくつか課題が挙げられ、さらに議論が必要ではありますが、保険薬局と薬剤部で話し合いを重ねて理解を深め、運用が出来るようにしていきたいと思っております。(薬剤部 松本和子)

新規！病診連携登録医

おかげさまで、当院の連携登録医制度に、下記の先生方に新規お申し込みをいただきましたのでご紹介いたします。今後末永いお付き合いをよろしくお願いいたします。(3月末現在、病診連携登録医数 89 施設)

No.	医院・施設名	医師名	登録月
①	丸山歯科クリニック	丸山 久雄 先生	2017年 1月
②	鳥羽医院	鳥羽 憲二 先生	2017年 1月
③	赤津整形外科クリニック	赤津 昇 先生	2017年 2月

『病診連携登録医募集のご案内』(地域の医療機関の先生方へ)

当院では、患者さんを中心とした地域医療を円滑に推進するため、地域の医療機関の先生方のご支援・ご協力をいただきながら、地域医療連携をさらに充実・発展・密なものとするべく『病診連携医登録制度』を設けております。詳しくは、地域医療連携課へお気軽にお問い合わせください。担当：三浦

オープンベッドのご案内

〈大北医師会 病診連携登録医の先生方へ〉

当院では、平成 17 年より「開放型病院システム運営実施要綱」を定め「開放型病床」(オープンベッド)の届け出をし運用を行っております。登録医に対して、病院の施設・設備を開放し「地域医療連携課」を通して、あづみ病院の主治医と連絡を取りながら、共同して診察・検査・治療をすることができます。

現在、使えるベッドを 5 ベッドをご用意しております、ご希望いただければこのシステムを利用できるよう準備しておりますので「地域医療連携課」までご用命ください。



患者さんのご紹介等に関するお問い合わせ・ご要望は、地域医療連携課で承っております。

北アルプス医療センター あづみ病院 地域医療連携課

TEL(直通) 0261-61-1455、FAX(直通) 0261-61-1456
E-mail renkei@azumi-ghp.jp
受付時間 平日 8 時 30 分 ~ 17 時、土曜日 8 時 30 分 ~ 12 時 30 分(診療日に限ります)



連携室だより 2017年 4月発行 JA長野厚生連 北アルプス医療センター あづみ病院 〒399-8695 北安曇郡池田町大字池田 3207-1 編集発行/地域医療連携課 TEL 0261-61-1455 FAX 0261-61-1456

連携室だより

CONTENTS

- 新任医師紹介
- 認知症を考える講演会
- 病薬連携懇話会
- 新規！病診連携登録医
- オープンベッドのご案内

あづみ病院理念

質の高い医療と社会への貢献をとおし、
地域の皆さまから信頼される病院を築きます。



北アルプス医療センター あづみ病院 地域医療連携課

59

April 2017

〈写真：外来棟3階 医局ラウンジ〉





千葉 裕

(ちば ゆたか)

在宅支援科

出身大学
専門医等
所属学会

- ◆東北大学医学部（昭和55年卒）
- ◆日本泌尿器科学会専門医・指導医
- ◆日本超音波医学会専門医・指導医・理事
- ◆日本超音波医学会 日本泌尿器科学会
- ◆日本泌尿器内視鏡学会 日本排尿機能学会
- ◆日本女性骨盤底医学会 日本在宅医学会

◆平成29年1月より在宅支援科で勤務させて頂くことになりました千葉裕（ゆたか）です。岩手県宮古市生まれ、幼稚園から高校までを同じ岩手の盛岡で暮らし、大学より宮城県仙台市に移り、卒業後も山形県、秋田県などの病院に短期出張以外は殆どを東北大学の医局で過ごし、平成14年より仙台市内の東北公済病院へ赴任。平成27年から現在の岩手県立中央病院に勤務しております。したがって東北の地を離れるのも、専門領域の泌尿器科以外を担当するのもこの歳で初めてのことで多少の不安を感じております。ただ以前から長野は自然や風土が岩手と似ている印象を持っており、また今まで40年間関わってきた泌尿器科や超音波専門医としての経験や知識が、必ずや在宅医療の現場でも役に立つと信じて思い切って飛び込んでみることにしました。もう新しいことを覚えるのも何かと大変な歳になりましたが、もともと野球・サッカー・フットサル・スキューバダイビングなどのスポーツが趣味でずっとまだまだ地域の皆様のお役に立てることもあると信じて頑張りますので、何卒よろしくお願い申し上げます。



飯塚 顕

(いづか あきら)

外科（後期研修医）

出身大学

- ◆東京医科歯科大学（平成27年卒）

◆4月より外科の後期研修でお世話になっております飯塚です。生まれ育ったのはお隣の群馬県ですが、学生時代は東京、初期研修の2年間は秋田県横手市という雪国で過ごしました。安曇野にきてからというもの、毎日自宅のすぐ前から北アルプスの山並みを目にすることができ、清々しい思いになります。趣味のバイオリンで気晴らしをしつつも、本業の外科では精一杯修行に励みたいと思います。どうぞ宜しくお願いします。

平成29年3月2日 18:00 -
あづみ病院 本館7階 やまなみホール

■講演「認知症と運転免許について」

講師：島根大学名誉教授・島根大学医学部特任教授・
塩飽労働衛生コンサルタント事務所・
NPO 法人習慣病予防研究センター
塩飽 邦憲 先生

認知症を考える講演会

■講義「改正道路交通法について」

講師：大町警察署 交通課 交通係係長
竹澤 隆幸 巡査部長

■意見交換

コーディネーター：北アルプス医療センター あづみ病院 副院長
認知症疾患医療センター センター長
村田 志保 医師



3月2日、「認知症を考える講演会」が開催されました。島根大学の塩飽那憲先生、大町警察署の竹澤隆幸氏より、認知症と運転能力、改正道路交通法について、ご講演・ご講義いただきました。その後、居宅介護支援事業所あじやねの海川美恵氏、NPO 法人安心生活支援こごみの細澤幸恵氏、北アルプス広域連合の大塚裕明氏より、それぞれのお立場での取り組みについてお話いただきました。塩飽先生のご講演より、16歳～24歳の交通事故件数が年々減っているのに比べ、65歳以上の事故件数は変わっていないため、割合としては高齢者の事故が増えていること、今後、特に85歳以上の認知症の数が増えていくことが予想されていることなどお話がありました。高齢になってからの運転の問題は、現在進行形の問題であり、一人一人が考えなければいけない問題なのだと考えさせられました。筆者は普段、病院の認知症外来で認知機能検査を担当していますが、検査の点数が日常生活での支障や運転能力とどのくらいリンクしているのかは、到底判定しうるものではありません。ご本人、ご家族、地域や院内の関係スタッフなどからの情報で総合的に判断されるべきものと考えています。また、いざ認知症と診断されたとして、ご本人やご家族の生活がその後も続くということに寄り添う必要があります。更に重要なのは、個人や家庭で運転免許をどうするか、免許返納後の生活をどうするか考えるというレベルを超えた、皆が住みよい地域作りであるということも痛感致しました。日々の業務をこなしながらも、一方ではいずれ家族や自分が高齢者になる一人の人間として、この問題に目を向けていきたいと思っております。（心理療法科 尾本 佳保里）

出席者数：290名



松葉 友幸

(まつば ともゆき)

整形外科、肩関節治療センター

出身大学
専門医等
所属学会

- ◆信州大学（平成18年卒）
- ◆日本整形外科学会専門医
- ◆日本整形外科学会
- ◆中部日本整形外科災害外科学会
- ◆日本肘関節学会
- 日本リハビリテーション医学会専門医
- 日本リハビリテーション医学会
- 日本関節鏡・膝・スポーツ整形外科学会
- 日本肩関節学会

◆4月よりお世話になる松葉友幸と申します。あづみ病院には2013年7月から2015年6月まで2年間、務めさせて頂きました。その後、船橋整形外科病院、信州大学医学部附属病院を経て、あづみ病院に戻ることとなりました。大北地域、あづみ病院は非常に働きやすい環境でしたので、また当院で働くことができるとも嬉しく思っています。畑院長と同じ、肩関節疾患を専門としておりますが、四肢の外傷など整形外科一般の診療にも力を入れて頑張っていきたいです。微力ながら地域の方々のお役に立てればと思っています。よろしくお願い致します。



中野 僚子

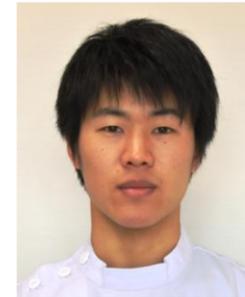
(なかの りょうこ)

歯科口腔外科

出身大学
専門医等
所属学会

- ◆東京歯科大学（平成28年卒）
- ◆日本口腔外科学会

◆4月より歯科口腔外科に勤務させていただきます中野僚子と申します。昨年は信州大学医学部附属病院の歯科口腔外科にて研修を行わせていただきました。歯科医師2年目でまだまだ未熟ですが、1日でも早く一人前の歯科医師になれるよう日々努力していきたいと思っております。病院歯科に勤務する一員として、口腔外科分野のみでなく口腔ケアにも力をいれていきたいです。今後ともご指導ご鞭撻のほど宜しくお願い致します。



小林 克己

(こばやし かつみ)

初期研修医

出身大学

- ◆信州大学（平成29年卒）

◆4月よりあづみ病院で初期研修医として働かせて頂くこととなりました小林克己と申します。私は安曇野市明科の出身であり、慣れ親しんだ安曇野の地で医療に携われることを嬉しく思っています。大学までは野球をしておりまして、体力にはある程度自信があるので、これからは知識にも自信がもてるように学んでいきたいと思っております。患者さんの信頼を得てその信頼に応えられるような医師を目指して日々研鑽していきたいと思っておりますので、ご指導ご鞭撻の程よろしくお願い致します。また、最近は泣ける本・映画探しに熱を注いでいますのでおすすめの本等ございましたらご一報下さい。

